

令和2年度第1回子ども・子育て会議 質疑回答一覧

(1) 報告事項

品川区子ども・子育て支援事業計画の令和元年度実績報告について

No.	ページ	項目	質疑事項	回答
1 人口と出生の現状				
1	P.2	(2) 合計特殊出生率の推移	「合計特殊出生率」の”特殊”とは？	「合計特殊出生率」とは、15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの（厚生労働省HPより引用）であり、一定人口に対する出生数の割合である出生率（一般的には人口1,000人あたりの出生数の割合を「普通出生率（または粗出生率）」という）に対する呼称です。
2	P.5 図表2-3	認証保育所の定員・利用者数・施設数	定員・利用者数の上に施設数の表示がある目的は？ (今後、保育内容や保育環境等、保育施設の質を高めたいことを目指しているのか)	グラフ表示の構成上、そのような表記をしており、特段意図はございません。
2 子育て支援の現状				
3	P.6 図表4-1	⑤支給認定および年齢別保育施設利用者数	利用者数（1,106人）の中に入園者数（972人）が含まれるか？	利用者数の中に入園者数が含まれます。
3 地域子ども・子育て支援事業				
4	P.9 図表6-2	(2) 時間外保育事業（延長保育事業） 公立園延長保育の利用状況	延長保育時間が減っているのに対し、利用者数にあまり変動がないのはなぜか？	図表6-2の延長保育の利用状況の「合計」は延べ人数で、「利用者数」は実人数となります。 例として、年100回延長保育を利用していた人が、年50回の利用に変更になった場合、「合計」は半分に減少しますが、「利用者数」は減少しません。 そのため、一人あたりの延長保育の利用回数が大幅に減少していても、1年間で一回以上利用する人は一定数いることから、利用者数はあまり変動がないと考えられます。

5	P.15 図表10	(6) 養育支援訪問事業	養育支援訪問実績数が平成27年度の376件と比較して令和元年度は17件と大幅に減少しているが、定義の変更等があったのか？出生数も0～5歳人口も増加していながら、養育支援が必要な家庭が大幅に減るとは考えづらい。	平成27年度まで育児支援ヘルパー事業の実績数も養育支援訪問実績数に含めてカウントしていましたが、厳密に養育支援訪問事業に当たる件数のみカウントするようになったため、実績数が大幅に減少しています。
6	P.17	(7) 地域子育て支援拠点事業 ④地域交流室ポップンルーム	説明が不足していてわかりにくい。 (どんな空間で何ができ、どんなイベントを催しているのか記載があった方がイメージが付きやすい)	ポップンルームは、在宅で就学前の乳幼児を子育て中の方が親子で自由に遊べる部屋です。保育士の資格を持った職員が見守っているので、安心して遊ぶことができます。また、子育てに関する相談が気軽にできるほか、定期的に親子で参加出来るイベント(カレンダーづくり、おはなし会や季節の行事など)を開催しています。 子ども・子育て支援事業計画上の記載については、より一層内容を充実させてまいります。
7	P.22	(10) 子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター事業)	依頼会員数に対し提供会員数が足りていない。児童センターなどを利用して子育てする親同士がつながり、サポートし合えたら良い。	提供会員数については、広報活動を行い増やすよう努めているところではありますが、今後についても一層努力してまいります。
5 しながわネウボラネットワーク				
8	P.30	④子育てネウボラ相談	ネウボラ相談員を配置する児童センターを増やしたことに伴い、ネウボラ相談員も増員したのか？ (1人の相談員が複数のセンターを掛け持ちしているのか)	相談員を配置する児童センターを増やしたことに伴い、ネウボラ相談員も増員しています。現在、区内9か所の児童センターに一人ずつ、計9人のネウボラ相談員が配置されています。
9	P.30	⑤生活支援型一時保育の拡充	主に乳児(抱っこやベビーカー移動を要する)の親が利用しやすいよう、オアシスルームの増設をしてほしい。	オアシスルームは現在、品川地区3施設、大井・八潮地区2施設、大崎地区3施設、荏原地区4施設の計12施設で事業を実施しております。今後も区民ニーズ等を勘案し、空白地域につきましては増設を検討してまいります。

(2) 審議事項

新規開設の特定教育・保育施設の利用定員について

No.	ページ	項目	質疑事項	回答
10			保育園の新規開設が増加しているが、ひろまち保育園のように閉園する計画はあるか？	期間限定の暫定施設については、以下のとおり運営期間を予定しています。 ・ほうさん保育園：～R6年3月まで ・ひがしやつやま保育園：～R8年3月まで ・まなびの森保育園西大井：～R9年3月まで ・にじいろ保育園勝島：～R10年3月まで
11			新規開設の認可保育施設が8園あるが、待機児童はいるのか？	令和2年4月1日時点の待機児童数は、0歳で0人、1・2歳で11人、3歳以上で2人となっています。
12			新規開設事業者の中に「社会福祉法人」が1件入っているが、どのような事業運営をしている法人か？	社会福祉法人大和社会福祉事業センターは、昭和55年に社会福祉法人として設立し、現在は多様な福祉サービス事業を提供している法人です。施設は、保育施設8施設（認可保育所、小規模保育事業、事業所内保育事業）、高齢者福祉施設3施設、障害者福祉施設4施設を運営しています。
13			新規開設の認可保育施設が増加しているが、将来的に区立保育園のチャイルドステーションに移行するのか？	現在、区内に52施設ある区立保育園・幼稚園すべてでチャイルドステーション事業を実施しており、本事業の私立園への拡大の予定は現在のところありません。

(3) その他
自由記入欄

No.	ページ	項目	質疑事項	回答
14			新型コロナウイルスへの対応状況や影響について教えてほしい。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大による子育て関連施設等への影響については、第2回会議にて情報提供する予定です。
15			コロナの影響による施設利用に関する変更点等を一覧で確認できるwebページなどがあるとよい。	区のホームページ上で、行政サービス・施設等の対応状況についてとりまとめた情報を公開し、随時更新しておりますのでこちらをご活用ください。
16			コロナ禍で、病児保育では発熱した子どもも受け入れているのか？	病児保育施設では、利用者に発熱症状があった場合でも、利用前に保護者より体調等を詳しく聞き取った後、受け入れ可能と判断した場合には受け入れを実施しています。
17			保育と介護のダブルケアを必要とする家庭の実態把握と行政のワンストップサービスはどのように進展しているか？	関係部署との連携を図りながら、保育と介護の両面から支援を必要とする家庭へのサービスの充実を目指してまいります。
18			障害の理由以外にも、人間関係など様々な理由で不登校になってしまう子どももいるが、その子どもに対するケアはどのようにしているか？	不登校の理由につきましては、様々あり、学校は児童・生徒、保護者と連携しながら対応に努めております。また、それぞれの状況に応じて教育委員会の適応指導教室や相談機能を活用して対応に当たるケースや子ども家庭支援センター、児童相談所など関係機関と連携して対応を行っているケースがあります。